

連盟発足の経緯

1990年代、健常者のパワーリフティング大会に車いす部門があり、障害者・健常者がともに日本国内大会や世界大会に参加していた。

ところが、世界パワーリフティング連盟で、歩いて舞台に行けない選手を出場させないというルールができ、日本の車椅子選手の国際舞台での活躍の場が閉ざされた。

そこで、車いすユーザーのパワーリフティングの愛好者数人が、国際舞台で活躍する道がないか探したところ、この競技がパラリンピック種目となっている事がわかった。

そこから、是非自分達もパラリンピック参加を目指したい、という機運が盛り上がり、公益財団法人日本障害者スポーツ協会（当時名称、現：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）に相談し、独立した連盟組織を作ればパラリンピック参加可能との指導を受けた。

そこで、平成11（1999）年6月5日、有志により会合が開かれ、日本ディスエイブル・パワーリフティング連盟が発足する事になった。
その後、平成11（1999）年12月21日、日本の障がい者スポーツを統括する公益財団法人日本障害者スポーツ協会（当時名称、現：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）に日本ディスエイブル・パワーリフティング連盟の加盟が承認された。

以降、シドニー、アテネ、北京パラリンピックにそれぞれ選手1名、役員1名を派遣。
平成24（2012）年9月開催のロンドンパラリンピックには選手3名、役員1名を派遣した。
平成28（2016）年9月開催のリオパラリンピックには選手3名、役員2名を派遣した。

平成25（2013）年12月20日に日本ディスエイブル・パワーリフティング連盟は法人化され「特定非営利活動法人日本 ディスエイブル・パワーリフティング連盟」となった。
平成26（2014）年10月10日に特定非営利活動法人日本ディスエイブル・パワー リフティング連盟は「特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟」に名称変更、現在に至る。